

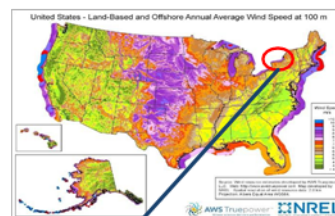
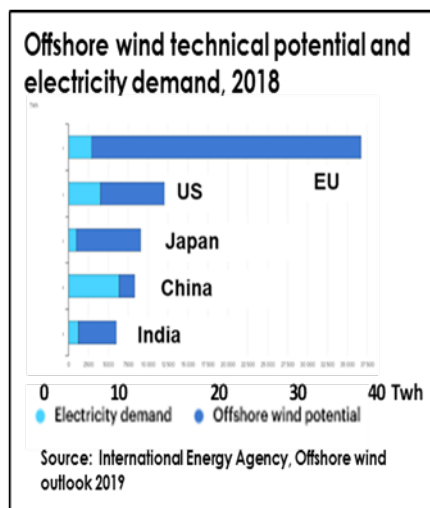
未来型日本経済への挑戦

モルガン・スタンレー MUFG 証券ニアトバ イザー／東京理科大学大学院技術経営専攻教授
ロバート・フェルドマン氏

風力発電に広がる大きなビジネスチャンス

日本にとって、大きなビジネスチャンスがあるのが、風力です。下の棒グラフをご覧ください。これは国際エネルギー機関(IEA)の調査データで、各国あるいは地域の洋上風力のポテンシャルを示しています。薄いブルーが、各国あるいは地域が実際に使っている電力、濃いブルーが、ポテンシャルです。日本の場合は、いま使っている電力の 9 倍、洋上風力の潜在能力があることが分かります。

風力の潜在的発電量は膨大



Mitsubishi Eyes Great Lakes for Offshore Wind Development

The case for wind turbines in the Great Lakes is getting stronger, according to Diamond Offshore Wind, a developer owned by Mitsubishi.

WALL STREET JOURNAL - OCTOBER 11, 2019

<http://www.greenfichmedia.com/articles/read/mitubishi-eyes-great-lakes-for-offshore-wind-development>

このポテンシャルに対する取り組みとして、各地で実験が行われていますが、例えば五島列島は洋上風力の取り組みが盛んです。

五島列島の洋上風力（浮揚式）

島国の日本で自然エネルギーの導入量を大幅に増やすためには、洋上風力発電の開発が欠かせない。ところが日本では水深の浅い海域に限られていて、洋上に風車を浮かべる浮体式で建設する必要がある。その先駆けとして長崎県の実験五島列島で2014年3月に、浮体式による最大出力2MW（メガワット）の洋上風力発電所が運転を開始した。



<https://www.renewable-energy.org/articles/column/20180111.html>



<https://www3.nhk.or.jp/news/2014/04/21/news033.html>



浮体に付着した海藻に集まる魚。
出典：五島市役所
<https://www.renewable-energy.org/articles/column/20180111.html>

海の生態系への影響も問題視されていますが、むしろ浮体に魚が集まることもあるのではないかという意見もあり、欧州でもこれに対する取り組みは非常に進んでいます。日本の海は沖合へいくとすぐに深くなりますので、設置された洋上風力は少し難しいかもしれませんが、浮揚式の発電所であれば非常に期待できるのではないのでしょうか。地方創生にも大きな影響を与えと考えられます。